

薩摩川内市産業人材確保・移住定住戦略
実行計画

～暮らし・しごと・マッチング計画～

令和 7 年 3 月（改 定）

薩 摩 川 内 市

目次

第1章 薩摩川内市産業人材確保・移住定住戦略実行計画の策定にあたって	1
第1節 実行計画の位置付け	1
第2節 実行計画の計画期間	1
第2章 施策の展開	1
第1節 施策の展開方針・体系	1
1 施策方針	1
2 施策体系	1
第2節 施策展開	2
1 地元事業者の成長を担う産業人材の確保	2
(1) 就職者サポート事業	2
(2) 事業者サポート事業	3
(3) 薩摩川内で働く気運の醸成	4
2 選ばれるまちになるための挑戦	4
(1) 移住定住者サポート事業	4
(2) ぽっちゃんプロジェクト事業	5
3 空家を活かした暮らしづくり	5
(1) 空家利活用事業	5
(2) 市有財産活用事業	6
4 官民連携・マネジメント	6
(1) 総合相談	6
(2) 学校・団体連携事業	6
(3) マネジメント事業	6
(4) プロモーション事業	7
第3節 KPI	8
1 地元就職率	8
2 年間社会増減数	8

第1章 薩摩川内市産業人材確保・移住定住戦略実行計画の策定にあたって

第1節 実行計画の位置付け

薩摩川内市産業人材確保・移住定住戦略実行計画（以下、「本計画」という。）は、第2次総合計画後期基本計画及び第3次薩摩川内市総合計画前期基本計画（案）の下部計画に位置付け、産業人材確保、移住定住、空家施策を総合的に推進する。

第2節 実行計画の計画期間

本計画の計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とする。
なお、内容については必要に応じて見直しを行うものとする。

第2章 施策の展開

第1節 施策の展開方針・体系

1 施策方針

本計画の施策方針を「薩摩川内市の強みを活かした産業人材の確保・移住定住の促進」とする。なお、本市の「強み」を大都会にない自然やゆとりある生活、事業者の魅力などとする。

2 施策体系

	施策		具体的な取組
1	地元事業者の成長を担う産業人材の確保	⇒	(1) 就職者サポート事業 (2) 事業者サポート事業 (3) 薩摩川内で働く気運の醸成
2	選ばれるまちになるための挑戦	⇒	(1) 移住定住者サポート事業 (2) ぽっちゃんプロジェクト事業
3	空家を活かした暮らしづくり	⇒	(1) 空家利活用事業 (2) 市有財産活用事業
4	官民連携・マネジメント	⇒	(1) 総合相談 (2) 学校・団体連携事業 (3) マネジメント事業 (4) プロモーション事業

第2節 施策展開

1 地元事業者の成長を担う産業人材の確保

(1) 就職者サポート事業

① 若者就職支援事業

若者の市外流出の抑制及び移住促進を図り、定着につなげるため、高校を卒業し、かつ市内事業所に就職した市民に対し、奨励金を交付する。

- ¹若者就労支援事業（中高生ふるさと就職奨励金）

② 奨学金返還支援事業

学生の市内就職を促進するため、大学等を卒業した者が市内事業所に就職した場合に、在学期間に貸与を受けた奨学金等の返還を支援する。

- 奨学金返還支援補助金

③ U I J ターン人材確保推進事業

市内の就職者の経済的負担を軽減するため、本市のU I J ターン者に対して支払った家賃の一部を支援する。

- U I J ターン者家賃等補助金

④ 分野別人材確保推進事業

a 介護

施設等の介護職員のキャリアアップを促進するための取組を行う。

- 介護人材確保育成補助金

b 保育

教育・保育、児童健全育成の担い手を確保するための支援を行う。

- 保育士就職支援金
- 保育士等人材バンク事業
- 放課後児童クラブ運営臨時支援事業

c 医療

甑島の診療所及び医療福祉施設等への新たな就職を促進するための取組を行う。また、川内看護専門学校の入学生確保のための支援を行う。

- 医療従事者等確保対策事業給付金
- 川内看護専門学校家賃補助金 ※川内看護専門学校連携事業

d 農業

新規就農者促進のために、本市に住所を有し、新たに農業を開始する者に対し、就農開始時の経営安定のための資金の交付や、新規に農業機械・農業施設を導入する際の費用の支援を行う。また、農業で自立を目指す新規就農希望者等を薩摩川内市農業公社に受け入れ、農業技術や経営等についての研修を実施する。

- 新規就農支援金補助金(営農部門)(畜産部門)
- 新規就農者育成総合対策事業(経営開始資金)補助金(営農部門)(畜産部門)
- 就農者育成拠点施設研修事業 ※農業公社連携事業

¹ ●は令和7年度に予算化し、産業人材確保・移住定住戦略実行計画対象事業である。

e 林業

林業就労者の雇用促進のために、林業事業体に雇用された新規就労者の社会保険等の助成や林業就労者に対して奨励金を交付すると共に、「かごしま林業大学校」（令和7年4月開校）の研修生等に対して支援を行う。

- 林業就労改善推進事業補助金
- 林業就労促進等奨励金
- 林業担い手確保対策事業補助金

f 漁業

新規及び後継者漁業就業者に対し、就業開始時の経営安定のため資金の交付や漁船や漁具等の購入に対して支援を行う。

- 漁業従事者支援事業補助金
- 新規及び後継者漁業就業者支援事業補助金

g 公共交通

バス・タクシー等地域公共交通の運転手を確保するため、本市の事業所で運転手として従事する者を支援する。

- 地域公共交通人材確保等補助金

h 建設業

建設業の人材不足解消のために、建設業への就職者の増加や定着の促進に向けた取組を行う。

- 建設業等人材確保支援補助金

⑤ 魅力ある職場づくり推進

採用と定着を向上していくため、女性、高齢者、障害者、外国人等多様な人材が安定して働け、働きがいと働きやすさを感じる職場づくり。

仕事と生活の両立を図れる良好な労働条件整備と従業員自己効力感を持てる職場づくりを推進する。

- 女性活躍推進事業
- イクボス宣言事業所募集事業
- シルバー人材センター事業
- 多文化共生事業 ※薩摩川内市国際交流協会連携事業

(2) 事業者サポート事業

① 事業者人材確保活動支援事業

事業者が人材確保のために実施する合同企業説明会や求人活動に伴う広報費用を支援する。

- 合同企業説明会出展補助金
- 求人活動広告支援事業補助金

② 採用力向上推進事業

事業者の採用力の向上を図るため、セミナーを開催する。

- 採用力向上セミナー

③ 障害者雇用推進事業

国等が進める障害者雇用の各種支援制度について周知広報を図る。

- ④ 保育士等人材バンク設置事業
保育士等人材バンクの設置により、保育に係る人材のデータベース化を行う。
●保育士等人材バンク事業 《再掲》

- ⑤ 産業人材スキルアップ事業
人材のスキルアップに資するセミナー参加や事業者等が実施する人材育成の費用を支援する。
●就農者育成拠点施設研修事業 ※農業公社連携事業 《再掲》

(3) 薩摩川内で働く気運の醸成

- ① 市内小・中学校等の職場体験事業
地元事業者の存在とその魅力を伝えるため、小・中・義務教育学校、高校・大学等及び一般の児童生徒や学生等に地元事業者の見学・職場体験等を行う。
●企業見学会・企業との情報交換会事業 ※企業連携協議会²連携事業
●お仕事博覧会「Workわくマルシェ」 ※企業連携協議会連携事業
- ② キャリア教育事業
将来の進路や就きたい職業について考える機会をつくるため、中学生に対し、市内事業所の社員が講師となり、働くことの意義や目的・仕事内容等を直接伝える。
●キャリア教育事業 ※企業連携協議会連携事業
- ③ インターンシップ事業
企業が取り組んでいるインターンシップ事業を周知し、地元企業に就職する意欲を高める。
●インターンシップ周知広報事業

2 選ばれるまちになるための挑戦

(1) 移住定住者サポート事業

- ① 移住体験事業
移住体験住宅を利用した本市の暮らしと生活環境の体験や、ワーケーションモニターを受け入れ、本市の生活と魅力を発信し、移住者の促進につなげる。
●移住体験事業
●移住体験ツアー事業
●ワーケーションモニター事業
- ② 首都圏からの移住支援事業
首都圏からの移住を促進するため、県が運営するマッチングサイトの対象掲載事業所へ就職し、本市に移住してきた者に対し、移住支援金を支給する。
●かごしまUIJターン移住支援金
●地方就職支援金
- ③ 定住住宅取得・リフォーム支援事業
本市への移住定住を促進し、定着を図るため、転入者の定住用住宅の取得またはリフォーム等に対して支援を行う。

² 事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会。企業間の意見交換、技術提携など共に連携できる環境を作り、市内企業及び市経済の発展、雇用の拡大を図るために設立された組合。

- 定住住宅取得補助金
- 定住住宅リフォーム補助金
- 地域移定住促進事業補助金

④ 新幹線通勤・通学支援事業

市内への移住定住を促進するため、本市に転入し、定住用の住宅を取得した者及びその家族の通勤・通学に係る新幹線定期券の購入費用の支援を行う。

- 新幹線通勤・通学定期購入補助金

⑤ 移住者フォローアップ事業

移住者の意見を聴き、移住者の定着を図るため、移住者に交流の場を提供し移住後のフォローを行う。

- 移住者交流会事業

⑥ 就学定住支援事業

市内の大学等への進学と卒業時の市内就職を促進するため、本市の若者が市内大学等に進学した場合に入学金を支援する。

- 就学定住支援補助金

⑦ 通学定期券等支援事業

子育て世帯の生活を支援し、市内への定住を図るため、市内中学・高等学校への通学に係る通学定期券等の購入費用の支援を行う。

- 通学定期券等購入補助金

⑧ 奨学育英事業

ふるさと薩摩川内市を愛し、心豊かにたくましく生きる人づくりを推進するために、経済的理由により高等学校修学が困難な者に特別奨学資金を支給する。

- 奨学育英事業（特別奨学資金）

⑨ 結婚新生活支援事業

結婚に伴う新生活の経済的負担を軽減し、市内への移住・定住を図るため、新生活の住居費等に係る経費の支援を行う。

- 結婚新生活支援補助金

(2) ぽっちゃんプロジェクト³事業

総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、大都市部の若者を地域に受け入れ、地域住民と協働し、商品開発や地域課題の解決に取り組み、隊員の任期終了後の地元定着を推進する。

- ぽっちゃんプロジェクト事業

3 空家を活かした暮らしづくり

(1) 空家利活用事業

① 空家改修サポート事業

³ 市内に「地域おこし協力隊」を導入し、その地域のテーマに沿った観光・物産に関する商品開発や販路拡大及び人材育成を実施する計画のこと。隊員がしずくのように地域に「ぽっちゃん」と降り立ち、地域おこしの波紋が広がる様相をイメージして名付けられた。

本市への移住促進につなげるため、空家となっている住宅等を改修し利活用を推進する。

- 定住住宅リフォーム補助金 《再掲》
- 地域移定住促進事業補助金 《再掲》

② 空家利活用促進事業

本市への移住促進を図るため、空家バンクに登録している物件の所有者と市外からの利用登録者が成約した際に成約奨励金を支給する。

- 空家バンク成約奨励金

(2) 市有財産活用事業

空家となっている市が所有する住宅等の利活用を推進する。

4 官民連携・マネジメント

(1) 総合相談

① 総合相談窓口事業

移住定住に対する総合相談体制を整えるため、問い合わせ対応の他、関係補助金の手続き、移住後の相談対応等や移住定住に役立つ情報を提供する窓口を設ける。

- 定住支援センター「よかまち・きやんせ倶楽部」事業

(2) 学校・団体連携事業

① 学校連携事業（スクールサポート事業）

小・中・高等学校・大学等との情報交換会等での連携や、学校における産業人材確保に資する事業を支援する。

- ふるさと教育応援事業
- 企業見学会・企業との情報交換会事業 ※企業連携協議会連携事業《再掲》

② 関連団体連携事業（リレーションシップ事業）

産業人材確保や移住定住促進を本市と共に行う他団体に対して支援をすることで、移住定住の促進、事業者の魅力向上、人材育成、雇用の拡大、雇用環境の改善など本市の雇用政策に関する施策を総合的、一体的に取り組む。

- 甕島地域雇用・移定住対策協議会運営支援事業
- 薩摩川内市企業連携協議会活動支援事業
- 薩摩川内市雇用対策協定運営協議会事業
- 薩摩川内市国際交流協会運営支援事業
- 川内看護専門学校運営支援事業

《薩摩国雇用創造協議会事業について》

現行の薩摩国雇用創造協議会については令和6年度をもって終了し、次期の協議会を申請予定である。

(3) マネジメント事業

① 産業人材確保・移住定住戦略協議会運営事業（産官学サミット事業）

行政、事業者、関係団体並びに市内の小・中・義務教育学校・高等学校・大学等が連携し、地元事業者の認知度向上、地元就職の啓発、就職やUターンのフォローア

ップ、移住定住施策等の情報発信など、魅力ある雇用やそれを担う人材の維持・確保の取組を一体的に実施し、市内の産業人材の確保及び移住定住の促進を図る。

●薩摩川内市産業人材確保・移住定住戦略協議会事業

② 関係施策調整事業

産業人材確保・移住定住の促進のため、薩摩川内市役所庁内に「産業人材確保・移住定住プロジェクトチーム」を設置する。

●産業人材確保・移住定住プロジェクトチーム設置

(4) プロモーション事業

① 総合プロモーション事業

地元就職や本市への移住定住者の増加を促進するため、移住定住支援サイトや求人サイトで移住や市内企業の紹介や求人に関する情報を広く発信する。

●移住定住情報発信事業

●産業人材確保情報発信事業

●企業 PR 動画作成事業 ※企業連携協議会連携事業

② 事業所と求職者のマッチング事業

地元求職者やU I J ターン希望者等を対象とした説明会等のマッチング事業を展開する。

●合同企業説明会運営事業

●合同企業説明会バス借上事業 ※合同企業説明会運営事業の関連

●Job ! 薩摩川内運用事業

③ 市外 P R 事業

U I J ターン者の獲得を目指すため、各種セミナーやその他フェア等に参加し、本市の魅力や市内事業所の情報発信を行う。

●各種移住フェア出展事業

●大規模転職フェア出展事業

第3節 KPI

1 地元就職率

地元就職率 35%

《過去5年間の数値》

令和2年春	令和3年春	令和4年春	令和5年春	令和6年春
19.8%	17.6%	27.6%	31.7%	28.3%

※地元就職率は、市内学校（鹿児島純心大学、川内職業能力開発短期大学校、川内高等学校、川内商工高等学校、川薩清修館高等学校、れいめい高等学校）における就職が決定した者に対する市内就職者数の割合のこと

2 年間社会増減数

年間社会増減数 ±0人（5カ年平均）

《過去5年間の数値》

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5カ年平均	▲298人	▲244人	▲223人	▲154人	▲95人
(参考)単年度	▲309人	43人	▲232人	107人	▲83人

※年間社会増減数は、年間の転入者数と転出者数の差である

※年間社会増減数の過去5年間の平均を指標とする

※5カ年平均の小数点以下四捨五入